

呂仙祖聖誕大法會及び浴佛七星祭式典

灌仏会（かんぶつえ）浴仏会（よくぶつえ）ともいい

4月8日、釈迦牟尼仏（しゃかむにぶつ）の降誕日を祝い、仏像を灌沐（かんもく）（水を注ぎ洗い清める）する仏教の儀式。一般には花祭とよんでいる。釈迦降誕のとき竜王が香湯を注いだという伝説にちなみ、花御堂（はなみどう）の中に誕生仏を安置し、灌仏偈（かんぶつげ）を唱えながら香湯または甘茶を注ぐ。誕生仏は右手で天を、左手で地をさした立像で、釈迦が降誕したに「天上天下唯我独尊（てんじょうてんげゆいがどくそん）」と宣告したという相を表している

七星祭とは

*塩、米、浄水、炭火を七星の形に並べ、七星の七輪の上を通過させる。これは穢れた気や不吉な物事を落とす儀式である。これにより、我々の精、気、神が洗練され、心身が浄化され、厄払いがされる。

玄門法師【玄禪】



法會を参加した人々は玄禪法師の祝福を頂いた